

《業界初》
～キャリアを活用した一貫ユニットロード化
～改善事例～



2020年4月28日(火)

株式会社 薬王堂
株式会社 PALTAC
ユニ・チャーム 株式会社

1

PALTACの事業内容

- ◆ 当社は、シャンプー、歯磨き粉、洗剤などの化粧品・日用品や風邪薬などの医薬品といった、生活に欠かすことのできない商品を取扱っています。
- ◆ メーカー・小売業の間で商品の流通を担う中間流通業です。

当社が年間に出荷する総個数

総出荷数量

30億個

日本国民1人当たり

25個

2

PALTAC MIND

行動指針として「PALTAC MIND」を定めています。

PALTAC MIND

私たちの源流

誠実と信用

私たちが目指すもの

私たちは流通を通じて、お取引先の繁栄と、
人々の豊かで快適な生活の実現に貢献します

私たちが大切にしているもの

私たちは、人とのつながりを大切に、感謝の心を忘れず謙虚な姿勢で行動します
私たちは、常にスピードをもって、新しい発想と技術で変革に挑戦し続けます
私たちは、協働の姿勢をもち、責任ある判断と行動で役割を果たします

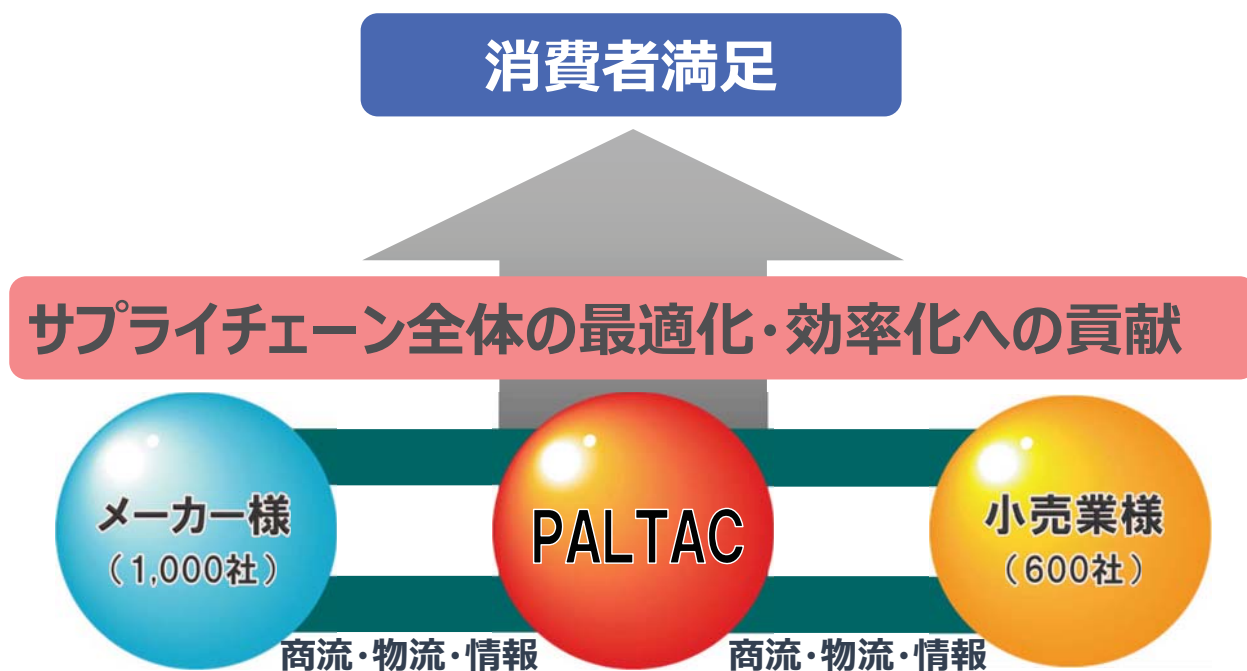
コーポレートスローガン

顧客満足最大化と流通コストの最小化

3

PALTACが目指す中間流通業とは

- ◆ 製・配・販は、1つのチェーンで繋がっていると考えています。
- ◆ 製・配・販の協力による流通全体の最適化・効率化に取り組んでいます。



4

人々の豊かで快適な生活のために

◆ 本件取組みの狙い

①製・配・販及びトラック事業者様を含むサプライチェーン全体の最適化・効率化に貢献。

②持続可能な社会に向けSDGsの達成に貢献
今回の取組は、左記の2つの項目に貢献。



③「ホワイト物流」推進運動にも参加を表明。
トラック事業者様の業務負担軽減と作業時間軽減
トラックドライバー不足の深刻化への対応



「安定供給」という社会的価値を将来にわたって提供し続ける

5

これまでの物流改善取組み（薬王堂様と共に取組み）

2015年 物流受託業務開始・・・流通全体で大幅にタッチ回数削減

同時に、物量標準化を実施
カテゴリー納品の開始
返品業務の集約化

ムリ・ムダ・ムラの排除
店舗オペレーション生産性向上

2016年 新店オープン時の部門・通路別納品
発注単位見直し

店舗内での補充陳列作業軽減
物流センター生産性向上
店舗の品出し作業の効率化

2017年 店舗別在庫コントロール 及び
店舗間移動システムの開始

返品削減 と同時に
店舗在庫の適正化に挑戦

2018年 他小売業との共同配送開始
納品時間、納品回数見直し

トラック積載率
20%～30%向上

以上の取組を続ける中で、今回、
ユニ・チャーム様、トラック事業者様を交えた取組みに発展。

6

サプライチェーン全体による取組み

- ◆ 薬王堂様、ユニ・チャーム様及びトラック事業者様の理解と協力・連携により本件取組みが実現



7

着眼点

- ◆ 重い荷物を持ち上げること(過重労働)を減らしたい
- ◆ 追加の大きな投資も難しい(今あるものを活用)
- ◆ 積込・積降し時間を減らしたい
- ◆ 積載効率も考えて・・・
- ◆ バックヤードの保管効率(小売業・卸とも)

(カゴ車の空き
スペースが・・・)



重いものを
持ち上げるのは大変

時間がかかるな～



大きな投資・・・?



8

具体的なターゲット課題

1. メーカー様の課題

- ・荷主として「ホワイト物流」推進運動に貢献したい
- ・出荷ホームの回転率を向上したい

2. トラック事業者様の課題

- ・「働き方改革」への取組み = 過重労働軽減と勤務時間短縮
- ・ドライバーの賃金改善、離職問題改善

3. (卸) 物流センターの課題

- ・荷降し時間短縮 (回転率向上) = トラック待機時間改善
- ・店舗配送トラックの積載効率向上
- ・センター内の効率化 (過重労働軽減)

4. 小売業様の課題

- ・バックヤードのスペース改善
- ・什器軽量化による作業負担改善
- ・店内陳列・補充における生産性改善 = 人手不足対応

9

具体的な取組み内容

◆当社が小売業様との間で活用しているキャリーを メーカー様出荷段階から活用

《メリット》

- ①小売業様の店頭まで持ち込めるサイズ
→メーカー様での積込後、積替え不要
＝一貫したユニットロード化を実現
- ②軽量・小型・小分け可能
→フォークリフト不要(危険作業回避)
→スペースの有効活用
- ③底に車輪が付いている・・・過重労働排除
→持ち上げる必要が無い
→転がし移動が可能



サイズ

W : 50 cm

D : 37 cm

H : 10 cm

「共同開発特許取得製品」



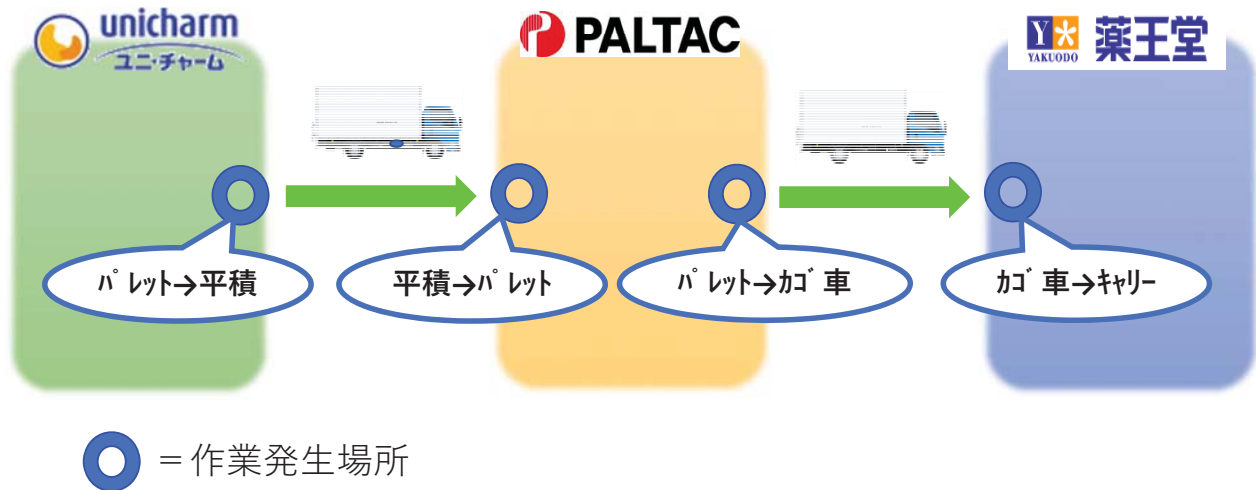
回収時は段積みし回収作業も効率化→

10

これまでの作業状況

◆流通の過程で少なくとも4回の積み・降しが発生

- 都度商品を持ち上げて降ろす作業が発生（過重労働）
- 什器の入れ替えが都度発生
- 積降し作業の長時間化
- 上記作業に伴うコストの発生



11

今回の取組み

◆4回のうち3回の作業を大幅に軽減

- 上げて降ろす作業を軽減（過重労働を1/4に軽減）
- 什器の入れ替えは不要
- 積込み・積降ろし作業時間を大幅に短縮
- 上記作業軽減に伴いコストも低減



12

作業状況（一貫ユニットロード）

1.メーカーにて発注単位でキャリア準備



2.ドライバーがキャリアごと積み込み



3. 積み込み完了



最初にキャリアをセット、この荷姿で店舗まで

6.定番商品と一緒に積み込みで積載率向上



5.店舗配送トラックにキャリアごとドライバーが同日に積み込み



4.PALTACセンターにて荷降りし店舗仕分け



各店舗へ納品

作業時間分析

◆ テスト運用実施による、作業時間分析

キャリア活用による一貫したユニットロード化による作業時間変化

	変更前 作業	変更前 作業時間	変更後 作業	変更後 作業時間
メーカー	パレット→ 平積	90分	パレット→ キャリア	90分
卸	平積→ パレット	120分	積替えなし	25分
	パレット→ カゴ車	120分	積替えなし	30分
小売業	カゴ車→ キャリア	120分	積替えなし	30分
合計		450分		175分

※メーカー出荷1回あたりの時間
(10tトラック満載時)

※一部、理論値を含む

作業時間約 60%削減

→ 「働き方改革」にも貢献

期初のターゲット課題に対する評価

1. メーカー様の課題

- ・荷主として「ホワイト物流」推進運動に貢献したい（◎）
- ・出荷ホームの回転率を向上したい（◎）

2. トラック事業者様の課題

- ・「働き方改革」＝過重労働軽減と勤務時間短縮（◎）
- ・ドライバーの賃金改善、離職問題改善（○）

3. （卸）物流センターの課題

- ・荷降し時間短縮＝トラック待機時間改善（◎）
- ・店舗配送トラックの積載効率向上（△今後検証）
- ・センター内の効率化（過重労働軽減）（◎）

4. 小売業様の課題

- ・バックヤードのスペース改善（◎）
- ・什器軽量化による作業負担改善（◎）
- ・店内陳列・補充における生産性改善（◎）

今後も、サプライチェーン全体に本件取組みを拡大していきたい。

15

まとめ

- ◆ 製・配・販及びトラック事業者様協力により実現
- ◆ ユニットロード化により大幅な作業負担軽減
- ◆ 作業時間も大幅短縮（約60%減）
- ◆ 大きな投資も不要

社会全体で取組む課題の解決に
繋がる取組みになったと考えています。

- ◆ SDGsの達成
- ◆ 「ホワイト物流」推進運動
- ◆ サプライチェーン全体の最適化・効率化
- ◆ 働き方改革

16

(株)PALTACでは
2019年10月SCM本部を新設しました。

(サプライチェーンマネジメント本部)

- サプライチェーン全体を視野に、
小売業様・メーカー様・トラック事業者様との協業・
協力による改善取組みを強化
- 数値分析やテストによるトライ＆エラーを繰り返し
成功事例の積上げと横展開を拡大
- 労働人口減少による課題を、生産性向上により解決

持続可能な流通構築に取り組んでまいります。

以上